

新規採用予定職員研修会

東部支部

月日 令和五年二月十六日～十七日
会場 プラサヴェルデ
参加者 七十一名

今年度もコロナ禍での新規採用研修会の開催となり、座学のみでの研修となりました。

講義①では、文京学院大学児童発達学科教授 朴淳香氏により、事故防止及び安全管理というテーマで講義をしていただきました。子ども達が健やかに過ごすための環境設定やルール、成長の速度による安全管理の違い等、様々な角度から子ども達を守る事に繋がる事故防止について学ぶことが出来ました。

講義②では、有限会社アップハートの勝又ひでこ氏に「社会人として一番大切なこと」人間関係と「サービス」というテーマで講義していただきました。四月から社会人になる研修生は、今後は組織人としての振る舞いが求められることや、人と人が関わる仕事は第一印象が大切になってくるということを学び、その為の基本は笑顔での挨拶であると判りました。

講義③では、静岡県保育連合会の土山雅之会長より「保育所・認定こども園の使命と役割」というテーマで講義をしていただき、静岡県保育連合会の活動や役割について学びま

した。現在の保育業界は待機児童よりも少子化による定員割れの問題が大きくなってきており、今後各園において保育の質の向上が求められていることがわかりました。

講義④では、県保育士会会長 吉川慶子氏より「保育者としての役割」というテーマで保育者としての勤務規律や危機管理意識、コロナ禍における感染対策と保育の工夫、子どもへの権利条約、保育者の倫理観等について深く学ぶ機会となり、倫理観を高めるために先のことを見通す事や他者への理解が必要になることを学びました。

講義⑤では、NPO法人浜松こどもとメディアリテラシー研究所の長澤弘子氏に「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」最近のネット・ケータイ・スマホ」というテーマで講義をしていただきました。インターネットのメリット、デメリットについて等を改めて知る機会となり、社会人としてSNSの使い方には十分気を付けよう、と考えさせられる講義になりました。

最後は実行委員長が研修生からの質問、不安などについてアドバイスをしたり、グループトークを通して様々な思いを共有する時間を設けました。

今回集合型の研修が出来、研修生同士が交流出来てよかったですと思います。講師の先生方やご協力していただいた皆様のおかげで新採研が無事に終了できましたことをここに感謝

申し上げます。

実行委員長 緑ヶ丘保育園 内藤朝日

中部支部

月日 令和五年二月十四日～十五日
会場 静岡県立焼津青少年の家
参加者 七十二名

今年度は焼津青少年の家に於いて、宿泊での研修を行うことが出来ました。

講義一は、県保育連合会副会長の私、海野美代子が、「保育所・こども園の使命と役割」というテーマで保育所の法的な位置づけ、社会的な使命についてお話ししました。また「不適切な保育」という言葉が、一人歩きをして、これから保育者を目指す学生の心を不安にしているかと思う、日常の保育ドキュメンテーションを展示したりして気持ちや和らぐようにと準備しました。

講義二では県保育士会会長、吉川慶子氏より「保育者としての役割」というテーマで保育者としての勤務規律や危機管理意識、コロナ禍における感染対策が子どもに与えた影響や、子どもの権利条約等についてご講演いただきました。

午後は以前この研修に参加し、現在就職一年目のだきしめこども園の望月紗理奈先生、五年目の明星保育園の渋谷風香先生お二人に実際に保育に関わっての体験談を聞かせていただきました。

西部支部

その後は明星保育園の櫻井英世先生の手遊び・歌遊びの実技指導がありました。感染対策も考慮しながら久しぶりの集団遊びで、皆緊張もありましたがすぐに心ほぐれ、櫻井先生の真似をしながら手遊びなどに取り組み、笑顔も増えました。

そのあとは、屋外でチャレンジラリー、こちらも種目内容を検討し、グループごとで競いました。一日目の締めくくりは、現場からのアドバイス。班ごとの指導者（実行委員の園長・主任）によるミーティングで、保育者として働くことの質問や不安なところを話し合いました。今回、宿泊施設のお風呂が使えず、地元の温泉利用となりましたが、これが緊張をほぐし、疲れをとる良い時間となりました。二日目は、駿河こどもとも社取締役 高林快晴氏より「子どもと絵本」というテーマで絵本の楽しみ方を、お話し頂きました。まず、大人が絵本の世界を楽しんで子どもと共々していくことが伝わりました。

土方良子先生によるご講義は、「保育士としての在り方」服務接遇、保育者として働くモチベーションの高め方等、一人一人が積極的に参加していきけるよう、土方先生により声掛け、指導を頂き、コミュニケーション力がグンと高まりました。

四月から研修生の皆さんの力が大いに発揮できますように陰ながら応援しています。終わりに、講師の先生方や実行委員の皆様にご協力いただいた皆様のおかげで新採研が無事に終了できましたことをここに感謝申し上げます。

実行委員長 一番町保育園 海野美代子

月 日 令和五年二月二十一日～二十二日
会 場 静岡県立三ヶ日青年の家
参加者 九十五名

新型コロナウイルス感染症対策の為、ZOOMや通いの研修となっていた新規採用予定職員研修会が三年振りに三ヶ日青年の家にて一泊二日の日程で開催となりました。

講義一では静岡県保育士会の吉川慶子会長より「保育者としての自覚と責務」というテーマで講義をして頂きました。メディアでも取り沙汰された事件・事故後、改めて社会から求められる保育の質は専門職としての自覚と責任、基本姿勢について学ぶ機会となりました。保育・保育者の質は専門的知識+気づきのセンスと豊かなバランスの取れた感性を磨く日々の努力が必要であると講義を頂き、気持ち引き締まる内容でした。

講義二では静岡県保育連合会の土山雅之会長より「保育所・認定こども園の役割と使命」というテーマで講義を頂きました。現在置かれている保育の動向では「少子化対策」から「子ども・子育て支援」に重きがおかれ今後より一層の保育者の質の向上が求められていることを学びました。

午後からは恒例となつている施設周辺のウォークラリーを行いました。共有の体験を通して、研修のねらいにある保育者同士の親睦を図ることが出来、受講生同士の緊張もほぐれ、以

降の研修会がより活気ある研修となりました。夜には講義三として「子どもと絵本をひらくとき」をテーマに「浜松こどもとも社」安田友昭氏より講義をして頂きました。絵本を選ぶ時のポイントや絵本のストーリーに隠された作者の思いなど知る機会となり、これまでとまた違った絵本の楽しみ方を学ぶことができました。

二日目午前には「現場からのアドバイス」では各班に分かれ、保育者として働くにあたり感じている心配や不安を相談し、より実践を踏まえた意見交換から四月から勤務する準備が整えられたのではないかなと思います。

講義四では「社会人として一番大切なこと」人間関係と含む接遇というテーマで（有）アップハートの勝又ひでこ氏より講義を頂きました。受講生という立場ではありませんが社会人として真剣な表情で受講していました。

講義五では「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性」をテーマに浜松子どもメディアリテラシー研究所の長澤弘子氏に講義を頂きました。SNSの利用は自己責任で行うものである反面、社会人として園に所属している背景を自覚する必要性や利用のモラルは常に使い方を「考える」ことが重要であることを学びました。

三年ぶりの宿泊研修や研修日数の短縮ということでスケジュール調整など、運営が難しい面もありましたが、皆様方のご協力により無事開催できたことに感謝申し上げます。

実行委員長 豊田みなみ保育園 宮城翔太